

# 伊東駅前広場整備検討委員会

## 第2回会議 会議録

- 1 開催日時 平成23年11月29日（火） 午後1時から3時まで
- 2 開催会場 伊東市役所庁舎高層棟 地階中会議室
- 3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり
- 4 配付資料
  - (1) 資料－1 次第
  - (2) 資料－2 駅前広場整備基本方針（案）
  - (3) 資料－3 駅前広場機能と導入施設
  - (4) 資料－4 伊東駅前広場案作図用図面

### 5 内 容

#### (1) 開 会

進行役の長澤課長補佐が委員の出席状況を報告し、規約第4条第2項の規定を満たしているので、本日の会議が成立することを説明した。

続いて、資料の確認を行った後、開会した。

#### (2) 議 事

規約第4条第1項第3号の規定に基づき、          委員長が議長の職に就いた。

#### ア 説明事項

##### ① 駅前広場整備基本方針（案）の提案について

事務局の片山主査が、資料－2を基に説明した。

委員から上がった主な意見や質問などを、下記に列記する。

(      委員) 只今、説明のあった事項を全て網羅させようとする、新しい駅前広場の予定区域内に収まりきれない。

(事 務 局) 整備基本方針（案）として説明したままで、確かにこれらの機能を全て、新しい駅前広場の予定区域内に収めることは困難だが、これからこの会議でその点を詰めていきたい。

(      議長) 「観光」の捉え方が不十分だと思う。伊東市にとって、「観光」はもっと大きな柱になってくるはずである。

(      委員) いろいろなものを取り組むことは難しいが、一方で、伊東市は観光地なので、「観光」に関するメッセージをもっと強くしても良いと思う。

- ( 議長) このことについては、「観光」をもう一つの柱として追加し、内容は事務局が作成して、次の会議で再び協議することによっていいか。
- (委員一同) 異議なし。
- ( 議長) それでは事務局、願する。
- (事務局) わかった。

② 駅前広場に持たせる一般的な機能や導入施設について

委員が、資料－ 3 を基に説明した。

委員から上がった主な意見や質問などを、下に列記する。

- ( 委員) 現在の駅前ロータリーは J R 東日本の所有地であるが、今後は誰が管理者になるのか。また、公安委員会の取締りとなるのか。
- (事務局) 新しい駅前広場は、都市計画決定を経ていく中で道路としての位置付けとなる。
- 一般論だが、バス・タクシーなどの営業車両については、占有物件の形を取ることを想定している。このため、公安委員会(警察)による取締りも当然、行われることとなる。

イ 協議事項

① 各委員が新しい駅前広場に希望する機能、施設や数量について

各委員が、新しい駅前広場に希望する機能、施設や数量について順に発表した。

各委員が発表した希望内容などを、別紙(希望する導入機能と施設一覧表(H23. 11. 29))に列記する。

続いて、行政関係者などから意見や提案などを聞いた結果を、下に列記する。

- ( 委員) 車社会への依存や、今後 5 0 年から 1 0 0 年後までを見据えたという条件の基、必要な機能を満たした上で、その中から伊東らしさを出していきたい。

- ( 委員) 現在の駅前広場は、信号や横断歩道の面ではいい状態にあるとは思っていない。死亡事故が起きた際に、長い横断歩道の改良(案)が提案されたが、未だに実行されていない。

新しい駅前広場では、歩行者と車両の機能を分離できればいいと思っている。

現在、整備が進んでいる熱海駅前広場では、交通事業者を始めとした事業者のみなさんに少しずつ我慢してもらって、従来

の権利や持ち分を縮小してもらったようだ。交通広場を立体にしたことは不便だと思っているが、これが熱海らしさを出した結果である。

なお、駅前広場には交番（車両の出入りスペースを含む）が必要だ。

（委員代理） 新しい駅前広場に必要な機能について、行政の立場としては話すべきではないと思っている。

都市計画道路や事業区域については、別途、調整が必要になる。

事業化を見据えて、今後の作業を進めてほしい。

（委員） 各委員のみなさんから上げられた意見や提案は、尊重していきたい。

伊東駅前広場は、伊東市の顔であり、観光の拠点でもある。更に、防災機能も備えていきたい。

（市役所代理） 駅前広場整備を含む、県内の施行実績について紹介する。

都市計画決定は68地区で実施され、この内の65%が土地区画整理事業により整備されている。その他の主な手法としては、街路事業（交通結節点事業やまちづくり交付金事業）となり、市街地再開発事業の手法を用いた地区は、遠州鉄道の浜北駅1件のみで、ここは市施行で整備が進められた。県内において、組合施行により駅前広場を含む区域の整備を実施した例は無い。

## ② 新しい駅前広場に導入する機能、施設や数量の調整について

各委員が希望する機能、施設や数量、及び行政関係者から出された意見や提案に対して、委員から上げられた主な意見や質問などについて、下記に列記する。

（委員） タクシープールの必要台数27台の配列は、3台×9レーンということか。

（委員代理） そうである。

将来的には、福祉タクシーやワゴン車などの出入りスペースもほしい。

（委員） 福祉タクシーの配備は大事なことで、このことで、身障者の方にも駅前広場を利用してもらえる。

（委員） 路線バスが同時刻に発車する台数は最大5台であるが、この組み合わせは一日に1回しかない。

（委員） 1～6レーンについてはその通りだが、3街区にある乗降場についても配慮してもらいたい。

（委員） 土地の形状から言って、駅舎の前面にバスは停めづらい。

また、現在は乗車場にバックで入車しているが、新しい駅前広場では、往来形にしたいと考えている。

( 委員) 弊社では、乗車場に5分前着車を心掛けているため、乗車場に入車する時間帯は、もう少しダブってくる。

( 委員) それにしても、今後はバックでの入車ではなくなるので、乗車場として7バースはいらないと思う。伊東駅前の場合は、電車の到着に合わせてバスが発車するシステムなので、乗車場は5バースで十分だと思う。

( 委員) 10年ぐらい前までは、並んでいる列の内、人は自然と空いている列に流れていったものであるが、今は、整列して一人ずつ平等になるように並んでいる。

( 議長) 商工会議所からの代表という立場では、事業者の利害はわからない面がある。

( 委員) 現在、わたくしたちが協議していることは、決して誰かが犠牲になるということではなく、誰も犠牲にならないで決めていくこともできる。

( 議長) 良い知恵を出して、譲り合いながら決めていきたい。

( 委員) 改札口から出た所の都市計画道路の歩道の幅員は、資料－4の作図用図面に示されただけの幅員が必要なのか。

( 委員代理) 都市計画道路の位置や幅員が整理されていない状態で、この図が提示されていることが問題だ。

( 事務局) この作図用図面には、幅員18mの都市計画決定に基づいて、都市計画道路の線を朱色で入れているが、現実的には、現道の幅員(15m)でも通行には支障ないこともあり得るので、今後、この都市計画道路の歩道や車道の幅員については、関係機関との協議により多少は減る方向に動く可能性は大いにある。

今回、作図をお願いするにあたって、新しい駅前広場の区域がある程度定められていないと作図ができないことから、現時点で想定される位置に朱色で記載したまでである。

( 委員) 交通広場は、どう見ても奥行き幅広い1街区と市営駐車場のスペースに収めるしか考えられない。

まずは、新しい駅前広場の配置を考えないと、伊東駅周辺地区整備事業の話は進まない。

## ウ その他

① 今回の会議に向けた、委員が考える新しい駅前広場(案)の作成依頼について

事務局の長澤課長補佐が、本日上げられた新しい駅前広場に希望する機能や施設を、資料－4に作図する依頼をした。

続いて、作図のイメージ例として、 委員から、JR横須賀駅前再整備

検討委員会にて同様に行われた作図事例を映像で紹介した。

委員から上がった主な意見や質問などを、下記に列記する。

(委員代理) 作図したものを、どうまとめていくのか。

(委員) 作図してもらったものは、作図の傾向からある程度いくつかのグループに分類し、グループ分けした後で、CADを用いてある程度正確な図に作り直す。

(委員代理) 委員のみなさんは組織を背負ってきているので、個人的に作図することが可能なのか。

(委員) 駅構内営業会は複数の会社で構成されているので、統一した考えで作図することは非常に困難だ。

(委員) バス・タクシーの交通事業者は、作図できると思う。

(委員代理) JR東日本としては、作図することはふさわしくないと考えている。

先ほど言い忘れたが、駅舎のメンテナンスのためのスペースもほしい。

(副委員長) 作図できる委員は事務局まで送付する、ということで良いのではないか。もちろん、極力提出できるように努力するが。

(事務局) そういうことで良い。

(議長) JR東日本に聞きたいが、伊東駅において、以前は宇佐美寄りに改札口（出口）があったが、これを復活させることは可能か。

(委員代理) 改修については必要に応じて実施することになるが、改札口を動かすと、多大な労力と費用が掛かる。

(副委員長) 空調の室外機が外から見えなければ、伊東駅の駅舎は素晴らしいと思う。

現在は、東口側しか利用されていないが、西側の利用度によっては、東側の利用形態も変わってくる。昔のように、宇佐美側に改札口があると良いと思っている。

改札口付近に待合所がほしいが、今のままではホームにも待合所が無いので、改札口付近に作ったとしても同じなのかなと思っている。

極端な考えだが、駅前広場には何も施設を配置せずに、平地のままでも良いのではないかと考えている。

作図を行うのなら、次の整備のステップも考えた上で行いたい。市として、西側の整備を考えているか。

(委員) 西側については、現時点では整備しないものとして、作図を進めてほしい。

(副委員長) 海岸沿いのかめやホテルなどについては、避難ビルに指定してほしいと、市に要望している。

(アトバザ代理) 新しい駅前広場に導入する施設やその数量を考えることは、大事なことである。事業者のみなさんの身になると、自分たちが使う施設を便利な位置に配置したいと考えるのは当然であるが、この委員会の目的は、伊東らしい駅前広場を考えていくことであり、このことについて協議を進めて行くべきである。整備基本方針（案）の中にも、このことが抜けている。このことを始めにしっかりと協議しておかないと、新しい駅前広場の配置や導入施設の数量を考えていくことはできない。

防災機能として、避難場所と考えるのならば備蓄倉庫がほしいが、あらかじめ市の防災担当に、駅前広場が避難場所になり得るのかを確認しておく必要がある。防災拠点は、市が決めていくこととなる。

(議長) 作図については、出来る範囲でお願いしたい。

(委員) 会議の初めの頃に、整備基本方針（案）に「観光」が抜けているという意見が上がったが、国土交通省のマニュアルに沿って計画をまとめていく上で、本来は、まちごとに整備目的が変わってくるはずであるから、マニュアルを何でもかんでも入れ込むことは良くない。

「観光」の観点からは、必ずしも物事や動作が早く進むことが良い訳ではないと思える。委員のみなさまには、伊東にとっては「観光」という言葉が大事だという声が上がったという話を、持ち帰って所属団体の他の方々に伝えてもらいたい。

(議長) 現在の駅前広場には、休むスペースさえ無い。

是非、地元住民のみなさんと事業者のみなさんが、融通し合いながら考えていく必要があると思われるので、その考えに立って作図をお願いします。

最後に、次回の第3回会議の開催日について全員で調整を行った結果、1月26日（木）の午後1時30分から開催することを決定した。

### (3) 閉 会

進行役の長澤課長補佐が、あらためて次回会議の開催日時を委員に説明した後、閉会した。

以上

(作成：事務局＝伊東市都市計画課)

# ●伊東駅前広場整備に際して導入すべきと考える機能や施設・数量①

種 別			交 通 事 業 者			伊 東 駅 構 内		観 光 業		
			東日本旅客鉄道株式会社	東海自動車株式会社	静岡県タクシー協会 伊豆部会伊東支部	伊 東 駅 構 内 営 業 会	一般社団法人伊東観光協会	伊東温泉 旅館ホテル協同組合		
交 通 空 間 機 能	バ ス	乗 車 場	各事業者に委ねる。	7台分のスペース。		7台分のスペース。				
		降 車 場		1台分のスペース。		1台分のスペース。				
	タ ク シ ー	乗 車 場								
		降 車 場								
		プ ール			現状と同じ27台分のスペース。	現状と同じ27台分のスペース（中型車12台、小型車15台）。				
	一 般 車	乗 降 場								
	■そ の 他			<ul style="list-style-type: none"><li>まちづくりの面で、都市側に協力していく。</li><li>緊急車両の乗り入れスペースが必要。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>安全対策として、営業車と一般車のスペースを分ける。</li><li>観光バスの乗降場として、3台分のスペースが必要。</li></ul>	<div>今後、福祉タクシーや車椅子対応のワゴン車などを導入していけば、更に広いスペースを確保したい。</div>			<ul style="list-style-type: none"><li>物資の搬出入用に、4t車2台分のスペース。</li><li>安全対策として、営業車と一般車のスペースを分ける。</li><li>安全な横断歩道。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>旅館やホテルの送迎用マイクロバス3台分のスペース（但し、必ずしも駅前広場内に設ける必要はない）。</li></ul>
環 境 空 間 機 能	■交 流 機 能 (人々が憩い、集い、語らうための機能や施設)	【例】 <ul style="list-style-type: none"><li>歩行者広場</li><li>イベント広場</li><li>滞留スペース など</li></ul>					<ul style="list-style-type: none"><li>欠席のため、旅館ホテル協同組合と一緒に発表。</li></ul>			
	■景 観 機 能 (周辺環境との調和を図り、美しい広場づくりを進めるための空間や施設)	【例】 <ul style="list-style-type: none"><li>緑地帯、樹木、花壇</li><li>噴水</li><li>モニュメント</li><li>シンボル施設 など</li></ul>				<ul style="list-style-type: none"><li>目印となるようなモニュメント。</li></ul>				
	■サ ー ビ ス 機 能 (公共的なサービスや情報提供のための機能や施設)	【例】 <ul style="list-style-type: none"><li>交番</li><li>トイレ</li><li>電話ボックス</li><li>案内板（案内サイン）</li><li>インフォメーションセンター など</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>トイレの新設。</li><li>雨に濡れないように、バスの乗降場と改札口を屋根で結ぶ。</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>現在のトイレの位置では遠くなるので、トイレを新設したい。</li><li>動線に合わせて、床材を色分けする。</li><li>案内サイン。</li><li>通路の上には、屋根を架ける。</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>トイレの新設（但し、管理のできないようなトイレはいらない）。</li></ul>		
	■防 災 機 能 (公共的なオープンスペースを活かした防災機能や施設)	【例】 <ul style="list-style-type: none"><li>防災広場 など</li></ul>				<ul style="list-style-type: none"><li>消火器。</li><li>AED。</li></ul>				
	■そ の 他			<ul style="list-style-type: none"><li>滑りやすい床材は使用しない。</li></ul>				<ul style="list-style-type: none"><li>駅舎の改築を考えたらどうか（市民運動の実施も考慮していく）。</li></ul>		
■バリアフリー対応（人にやさしい施設計画）										

<凡例> 現在の駅前広場が担っている機能：

## ●伊東駅前広場整備に際して導入すべきと考える機能や施設・数量②

種 別			商 業		福 祉	住 民 代 表	地 元 地 権 者 団 体		
			伊東商工会議所	伊東市商店街連盟	社会福祉法人 伊東市社会福祉協議会	伊東市地域行政 連絡調整協議会	伊東駅前地区 まちづくり協議会	伊東駅前A地区 市街地再開発準備組合	
交 通 空 間 機 能	バ ス	乗 車 場				}		}	
		降 車 場							
	タ ク シ ー	乗 車 場							
		降 車 場							
		プ ー ル							
	一 般 車	乗 降 場							
	■そ の 他		・ 交通広場は2階建にし てはどうかという声があ がった。				・ 現在の駅舎の外観は素 晴らしいが、内部は普通 程度。		
環 境 空 間 機 能	■交 流 機 能 (人々が憩い、集い、 語らうための機能や 施設)	【例】 ・ 歩行者広場 ・ イベント広場 ・ 滞留スペース など		・ 観光客が休憩できるス ペース。		}	・ ただ要望を出 すだけでは、話 はまとまらない。 既得権益を主 張しては、 何も決まらない。	・ 市民や観光客がゆった りとくつろぐことができ る、広いスペース（歩行 者広場）。	} 遅れて出席したた め、駅前地区まちづ くり協議会と一緒に 発表。
	■景 観 機 能 (周辺環境との調和を 図り、美しい広場づ くりを進めるための 空間や施設)	【例】 ・ 緑地帯、樹木、花壇 ・ 噴水 ・ モニュメント ・ シンボル施設 など					・ 広いスペース に、交通広場を 設ける。	・ 温泉モニュメント。 ・ 伊東小室桜。	
	■サ ー ビ ス 機 能 (公共的なサービスや 情報提供のための機 能や施設)	【例】 ・ 交番 ・ ポスト ・ トイレ ・ 電話ボックス ・ 案内板（案内サイン） ・ インフォメーションセンター など			・ トイレの新設（大人の おむつ処理や、オスメイ トトイレ機能を持ったト イレ）。		・ 駅前広場前面 の都市計画道路 の幅員が広過ぎ る。		
	■防 災 機 能 (公共的なオープンス ペースを活かした防 災機能や施設)	【例】 ・ 防災広場 など			・ わかりやすい避難誘 導。				
	■そ の 他			・ 駐車場。					
	■バリアフリー対応（人にやさしい施設計画）					・ 全ての障がい者に対応 した施設計画。	}		}

<凡例> 現在の駅前広場が担っている機能：



# ●伊東駅前広場整備検討委員会

## 第2回会議 出席者名簿

【平成23年11月29日（火）】

（※1：委員長、※2：副委員長）

番号	区分	所 属		氏 名	出 欠	随行者
		名 称	役 職			
1	交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社	横浜支社総務部企画室長	■■■■■■■■■■	○ 代理：■■	
2		東海自動車株式会社	自動車営業部長	■■■■■■■■■■	●	
3		静岡県タクシー協会伊豆部会伊東支部	支 部 長	■■■■■■■■■■	○ 代理：■■	
4	伊東駅構内	伊東駅構内営業会	会 長	■■■■■■■■■■	●	
5	観光業	一般社団法人伊東観光協会	副 会 長	■■■■■■■■■■		
6		伊東温泉旅館ホテル協同組合	理 事 長	※2 ■■■■■■■■■■	●	● (■■■■)
7	商業	伊東商工会議所	建設工業部会長・常議員	※1 ■■■■■■■■■■	●	
8		伊東市商店街連盟	会 長	■■■■■■■■■■	●	
9	福祉	社会福祉法人伊東市社会福祉協議会	介護支援専門員	■■■■■■■■■■	○ 代理：■■	
10	住民代表	伊東市地域行政連絡調整協議会	湯 川 区 長	■■■■■■■■■■	●	
11	地元権者団体	伊東駅前地区まちづくり協議会	会 長	■■■■■■■■■■	●	
12		伊東駅前A地区市街地再開発準備組合	理 事 長	■■■■■■■■■■	●	
13	専門家	まちづくりアドバイザー	株式会社南條設計室代表取締役	■■■■■■■■■■	●	● (■■■■)
14		交通計画専門家	株式会社計画工房常務取締役	■■■■■■■■■■	●	
15	公安	伊東警察署	交通課長	■■■■■■■■■■	●	
16	行政	静岡県熱海土木事務所	都市計画課長	■■■■■■■■■■	○ 代理：■■	
17		伊 東 市	建 設 部 長	牧 野 昇	●	● (久保田、高田)
18	アト・ハ・イ・サ・ー	静岡県交通基盤部都市局	市街地整備課長	■■■■■■■■■■	○ 代理：■■	

<凡 例> ●：出席、○：代理出席、無印：欠席

(敬称略、順不同)

□事務局：伊東市建設部都市計画課

山田課長、長澤課長補佐、片山主査